

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0380
施設名	ゆりのき保育園
施設所在地	多摩市永山4-6
法人名	社会福祉法人至愛協会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

広い園庭や近隣にある公園で、子どもたちは沢山の自然体験をしています。又、田植え・稲刈り・お芋掘りや各クラスの前にある畑で野菜を栽培するなどの収穫体験も行っています。子どもの自由な発想や視点から、「これは何?」「どうして?」の疑問について、体験を通して理解を深めていきました。

2. 活動スケジュール

5月～ 地域農家の協力を受け、たけのこ掘り・田植え・芋ほり・稲刈りなどの収穫体験を行う。

5月～ クラス毎に夏野菜・冬野菜を栽培する。

10月～ 散歩に出かけ、自然物に興味関心を持つようにする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 地域農家による収穫体験
- ・ クラス毎に野菜の苗や培養土など畑用品
- ・ 散歩で見つけた自然物
- ・ 電子黒板

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・地域農家の協力を受け、たけのこ掘り・田植え・芋ほり・稲刈りなどの収穫体験を行う。
- ・クラスで夏野菜や冬野菜について調べ、何を栽培するのかを決定し、畑に土作りから種や苗を植え育てる。収穫後はクッキングをして食す。
- ・お散歩で自然物を発見・収集を行い、その収集物で制作を行う。
- ・どんぐりに種類があることに気づき、どんぐりの中がどのようなになっているかを調べる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・たけのこが土の中にあることを知る。「中々掘れない」「大きい方がいいんじゃない!」と活動したことで分かる感想を声にしていた。
- ・クラスの畑では、自主的に水をあげ育てる姿が見られる。収穫した野菜はクッキングをしたり、家に持ち帰り、家庭と一緒に収穫を喜ぶ。
- ・散歩でどんぐりやまつぼっくりを見つけ、保育園に持ち帰るために、「これはピカピカしてる、これが土が付いているからダメだ!」ときれいなものを探していた。その後、制作で使用する。
- ・「どんぐりの中はどうなってるんだろう?」との声が上がり、どんぐりを切って、中を見て見る。「なんか種が入っているみたい」「どんぐりが大きくなったら何になるのかなあ?」との感想が聞かれた。

	たけのこ、見つけた！	
	たけのこの皮を1枚ずつ丁寧に！	
	たけのこの皮を1枚ずつ丁寧に！	
	お散歩バックが完成しました。	
	お散歩で何を見つけたかなあ？	
	木の実のオーナメントを作りました。	
	このどんぐりの名前は？？	
	どんぐりの中に『種』が入ってた！	

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ 地域農家による収穫体験をはじめ、実際に野菜を栽培する事により、生長する様子を観察して楽しんだり、育てることの大変さに感じていた。その結果、食べ物大切さに気付くことができた。
- ・ 散歩でどんぐりを見つけて楽しんでいたが、どんぐりの形や大きさ・色が違うことに気づき、図鑑で調べたり、電子カメラで拡大して観察したり、子どもの興味関心を深堀することができた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0380
施設名	ゆりのき保育園
施設所在地	多摩市永山4-6
法人名	社会福祉法人至愛協会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

表現

<テーマの設定理由>

劇（表現）活動を通じて、子どもたちが言葉や身体を使って表現することの、興味や関心をさらに深めていく。

2. 活動スケジュール

9月 「保育士による人形劇を楽しむ」
11月 「人形劇団の観劇会に参加する」
12月 「劇あそびを楽しむ」

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・人形劇の人形
- ・人形劇の舞台やセット
- ・台本
- ・観劇会の設定
- ・布や人形など、子どものイメージを実現するための素材

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・保育士による人形劇を観て、劇あそびの楽しさを知る。
- ・人形劇団による観劇会に参加し、本格的な人形劇を体験する。
- ・日々の遊びの中で、表現するためには何が必要かを知り、準備する。
- ・人形劇会を企画したり、クリスマス会で劇を演じる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・日常のあそびの中で、ごっこ遊びをしています、人形劇の観劇を楽しむ中で、役割やセリフがあることに気付く。
- ・役柄で言い方や声の音色の違いに気付く、楽しむ。
- ・友だちを協力して、人形劇のストーリーを考え、台本を作る。
- ・人形や舞台を制作、客席の準備など、観劇会を企画する。
- ・クリスマス会に向けて、配役を相談して決定し、友だちと協力してセリフや動きを覚える。



七匹の子ヤギ。オオカミにハラハラドキドキです。



人形劇団の迫力にビックリ！



いよいよ人形劇のはじまり！はじまり！

おもちゃを組み合わせ、人形を作りました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

日頃のあそびの中で、お店屋さんごっこやおままごとをしていたが、人形劇や観劇会を通して、役割やセリフがあることを知り、子どもたちでストーリーを相談し、台本や人形作りに活動が発展していきました。お客に劇を観てもらうために必要なことを、子どもたちなりに考え、実現に向けて話し合いや工夫する姿が見られました。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0380
施設名	ゆりのき保育園
施設所在地	多摩市永山4-6
法人名	社会福祉法人至愛協会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

鏡「あなたはだあれ？」

<テーマの設定理由>

日々の生活の中で、友だちとの関わりが見られます。子どもたちの身近にある鏡、鏡に映った自分や友だちの顔や姿を見ることで、どんな気づきがあるのだろうか？友だちの顔はいつも見ているので理解しているけれど、自分の顔を認識しているのだろうか？鏡遊びを通して、自分と友だちの違いなどの気づきを得ることができるか？

2. 活動スケジュール

12月 「初めて鏡と出会う」

1月 「鏡でトンネルと作り、立体的にしてみる」

2月～「鏡を保育室に常設する」

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ミラーマット

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・鏡あそびを通して、楽しさをする。
- ・鏡に映っている姿から、友だちの名前を確認する。
- ・全身を映して、自分の体を知る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・すぐに鏡に興味を持ち、鏡をのぞき込んでいた。
- ・鏡越しに移る、自分や友だちを見て、自分の顔を指さしたり、「〇〇ちゃんだ！」と名前を言ったり、笑い顔や変な顔をして楽しんでいた。
- ・口の中や目など、体の部位を観察していた。
- ・鏡のトンネルを作ると、どこを見ても自分が映っている不思議さを楽しんでいた。



鏡に映る顔を見て、微笑んでいた。

自分が沢山いる不思議なトンネル！



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

日常生活の中で当たり前のように使用している『鏡』をテーマにしました。大きな鏡に興味津々の子どもたちでした。0歳児は、初めはおっかなびっくり鏡をのぞき込み、不思議そうな顔をしていました。鏡に映っている姿が自分であると認識されず、触ろうとしたり話しかけていました。活動を重ねるにあたり、自分で鏡の世界を楽しんでいました。また、鏡を常設してからは、鏡の姿に話しかけたり、鏡越しに周囲の様子を見ていたり、鏡のある生活が当たり前のように身近な存在になったように感じました。